みらいだより

令和４年２月１日

社会福祉法人 みどり会
みどりの森みらい保育園

園長　中川宏美

１年で一番寒い時季です。今年は寒さもいっそうに身にしみます。新型コロナウイルス感染症第六波が拡大している中、“あたりまえ”の日常がなくなっています。また小さな子どもが感染する状況も増えています。子どもたちの体調・ストレスなどご心配なことがありましたらいつでもご相談ください。まだまだ寒い日が続きそうです。栄養、睡眠をとって健康管理に十分気をつけてお過ごしください。

２月行事予定

日	曜	行　事　予　定	
3	木	節分会	分園本園
5	土	お弁当の日	本園
12	土	お弁当の日	分園
14	月	身体測定（どんぐり・たけのこ・ひかり）	本園
		身体測定（どんぐり・たけのこ・りす）	分園
15	火	身体測定（うさぎ・そら・ひかり）	分園
16	水	身体測定（りす・うさぎ・そら）	本園
19	土	リズム会・お弁当の日	本園
22	火	雪あそび（ひかり）	分園　本園
26	土	リズム会・お弁当の日	分園

お知らせ：本園の長田涼実保育士が、2 月 22 日に入籍します。新姓は川城（かわしろ）になります。

「これはしない、あれはする」

小林照子著

子育て中、自分は「できてない」と悩んでいる人が多いです。

子どもと一緒に泣いたり怒ったりして抱きしめてあげられればそれで十分。「できていない」という罪悪感に縛られるのをやめると楽になります。

目の前のことをなんでも一生懸命にやってしまう人に多いです。でも家事・育児・仕事と全てに頑張っていては身が持ちません。「する・しない」を取拾選択しましょう。心がすり減るようなことは明日からしない。

楽しく生きるためにプラスになることは「する」そう決めれば楽になりますよ。

「私十分頑張っている」と声に出してみましょう。

日常生活の中で文字、数量や図形などに関心を持っています

・保護者の皆さんから「保育園で文字や数を教えてもらえるんですか」という質問をいただくことがあります。私たちは、文字、数を教えこむことはしません。**保育者は、知識だけを単に教えるのではなく、生活の中で子どもが生き生きと文字、数量や図形などに親しむことができるように意識して環境を工夫し、援助しています。**

子どもは、日常生活の中で、文字に興味を持ち、人数や物を数えたり、量を比べたり、また様々な形に接したりすることを繰り返し体験しています。乳幼児期の遊び（生活体験）が学びであり、小学校以降の深く理解する力に繋がっていきます。※脳科学などの分野でも、幼児期に十分に遊ぶことなく早期教育で知育編重になった子どもたちは、早い時期に学習意欲をなくしやすい、あるいは精神的に不安定になりやすい研究結果があります。

ドキュメンテーションから抜粋（各クラスの１枚）

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気付き」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。

どんぐり（0 歳児）：私のお気に入り

大きな靴を履いてみようとしています。いろいろな角度に傾け、自分の足を入れようとします。やっと履けると足元をみつめ満足そうな表情でゆっくり歩いていました。集中して試行錯誤する時間、「自分でしたい」と言う思いや願いを尊重して温かく見守っています。満足感や達成感を育んでいます。

たけのこ（1 歳児）：しゅつしゅ！ぽっぽ！

縄の上を歩いたり、くぐったり、ジャンプして飛び越えます。縄を持って「しゅつしゅ、ぽっぽ」電車にみたてて出発。
一本の縄を、生活体験したイメージと結び付け自分なりの目的や方法でいろいろと工夫しながら扱って楽しんでいます。

りす組(2 歳児)：山の中は絶好の遊び場

木の枝に、ロープをかけていると「何ができるん？」ブランコができる過程をわくわくした様子でみています。「あっ、ブランコ」「のりた～い」「どうやって乗ったらいい？」興味津々に木の枝ブランコに挑戦していました。旺盛な好奇心を、周囲の環境に向けて積極的に関わろうとしています。

うさぎ(3 歳児)：自分の経験を生かして

のぼるのをこわがる友だちに、「ちょっとみてて。こうやって持ってのぼるんだよ。私も前はこわかったよ」と友だちの気持ちに寄り添って共感しながら、自分の経験を相手に分かるように言葉で伝えます。活動が共有されていく満足感を味わっています。

そら(4 歳児)：鬼ごっこ

「バナナ鬼しよう」「鬼決めしよう」全員で鬼ごっこが始まります。「鬼が一人だけじゃ大変」「先生が鬼になったらいい」など鬼ごっこの状況を把握して提案していきます。クラス全体で協同して遊ぶことができるようになっています。十字鬼やひょうたん鬼にも興味を示し、集団での楽しさや醍醐味を感じています。

ひかり(5 歳児) ：鬼のパンツはいいパンツ～♫

節分のイメージをもって、形・色・素材にこだわり、工夫して鬼のお面や衣装を書いたり作ったりしています。「大きさぴったり」「はけた」「どう？」自分の思いを友だちに表したり伝えたり、夢中になって共通の目的を持って遊びを楽しめるようになっています。